

第 53 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 27 年 6 月 22 日(月) 午前 10 : 30～12 : 00

2. 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室

3. 委員の出席 委員総数 7 名

出席委員 7 名

出席委員の氏名 稲垣千秋、牧野直子、桑田政美、稲井信也、
中村保、高谷和彦、須貝昭子

以上 7 名

放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)
大平麻由美 (編成課長)
小川 亮 (編成課員)

4. 議 題 1) 番組 ①新番組「倉田操のシアターナビ」
②新番組「劇団「すずしろ」アワー」
2) 審議
3) その他番組に対する意見

5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

今回は4月から始まった「倉田操のシアターナビ」と「劇団「すずしろ」アワー」をお聴き頂きました。

第1・3がシアターナビ、第2・4がすずしろアワーで、交互に土曜日の朝9時30分に放送しています。どちらも演劇に関する番組です。

倉田操さんは北摂にお住いの俳優さんで、劇団すずしろの監督をされています。関西の舞台、映画、サブカルチャーなどを発信するほか、メインコーナーとして、演劇に携わるゲストを招きお話を伺っています。

また、「劇団すずしろアワー」は、有志の劇団員のみなさんがチームを組んで、チームごとに放送しています。

お聴きいただいた回は、川島謙一さん、日宇京子さんのお二人が、青春時代の音楽を邦楽・洋楽交互に自分のエピソードを交えて紹介しています。他の回は、趣味の話や、劇団の歴史を語ったり、長編のラジオドラマに挑戦したり、幅広い内容です。

(2) 審議

委員長：ただいま番組の説明がありました。それではご意見をお願いします。

委員 A：今回は2つの番組を聞き比べたことで、違いが見えたりして良かったです。「シアターナビ」は、出だしのトークで、内輪話をしていて違和感を感じました。体調が悪いという話をされていて、せっかくの放送なのにもったいない気分になりました。また、トークの中で「お前」「俺」の表現があったのも気になりました。公共放送に普段の会話を持ち込むのはいかがなものでしょうか。しかし、後半のゲストとのトークは聞きごたえがあり、倉田さんの質問の聞きだし方が上手でした。「すずしろアワー」は聞きやすかったです。それぞれが曲を紹介するときに、当時の思いや、

状況が手に取るように説明され、それをリスナーに共有しようという表現が、リスナーに共感を呼ぶのではないのでしょうか。他の回は分からないですが、今回のチームはいい番組ですね。

委員 B：「シアターナビ」は、体調のことなどを話題にするのはどうかと思いました。「すずしろアワー」は良かったです。

委員 C：「シアターナビ」は、最初の内輪の話で気持ちが離れてしまいました。「すずしろアワー」は聞きやすく、知らない曲でも思い入れが伝わるので、知らない曲も入り込んで聞き入りました。

委員 D：「すずしろアワー」は、あっという間の 30 分間でした。昔のことを思い出せるいい番組ですね。時間帯を朝より、昼の施設利用者のかたが昼食の団欒の時間帯に放送した方が、同じ世代の人が楽しめていいのではないのでしょうか。

委員 E：「シアターナビ」は、ゲストコーナーは興味のある人には面白い内容だったと思います。「すずしろアワー」は、お 2 人の話が上手で、なにより、ひとつの番組内で歌謡曲からロックまで聴ける構成は素晴らしいですね。演劇の話にこだわっているわけではないし、ほんわかした雰囲気でも続けていける要素を感じました。

委員 F：「すずしろアワー」は、聞き終わった後でもリスナー自身からエピソードが出てきそうな感じでした。1950 年～60 年代の曲が多かったですが、リスナー層はこの年代が多いでしょうし、それぞれが思い出したりできる番組は、意味のある番組になり、聞きたい番組になる可能性があると思いました。「シアターナビ」は、冒頭トークの「お前」「俺」の表現が気になりました。ゲストのお話は、ご自身の演劇的な変遷など聞き入ってしまいました。

委員 C：アシスタントのお二人の役割は何ですか？

事務局：番組企画時に倉田さんから演劇仲間に手伝ってもらいたいとの提案で、

それぞれのアシスタントの演劇的な分野を紹介していきたいという話から始まっています。

委員 A：大勢で出演するとタイミングを計ったりするのが難しくなります。未経験者で番組作りをするときは、注意点などもっと丁寧にお話する必要がありますよね。

委員長：委員みなさんの意見を聞いて事務局はどうですか。

事務局：「シアターナビ」については、倉田さんの良さが出せる番組にしたいので、ご本人ともお話し合いをしていい番組に改善していきます。ゲストコーナーでは、専門的な面白い情報も聞かせていただいているので、それを核として、フリートークやアシスタントのそれぞれのコーナーもどう作っていくか話し合っていこうと考えています。「すずしろアワー」は、全5チームあり、チームによって内容が変わりますので、また印象も変わっていくと思います。今回のチームのような番組をレギュラー化していけたらと思いますが、音源探しや台本作りなど結構な時間を要している状況のなか、ボランティアで番組制作をしていただいているので、無理のない範囲で拡大していけたらと思っています。

委員長：それでは、ほかの番組などでご意見を頂戴したいと思います。

委員 A：タッキー816応援団の試みとして今年は街角レポーターを15名から20名くらい募集します。9月に養成講座を実施します。災害時に活躍していただけるレポーターになっていただくことが隠れた趣旨でもあります。異常気象が多い昨今ですので、いち早く市民の目線でレポートできるようになってほしいです。

委員 B：災害時、行政からの情報も必要ですが、生きた市民からの情報、例えば、避難所までのこの道は今土砂で通れないなどを、どれくらい放送に盛り込めるかも大切なので、そのあたりの体制作りも今回取り組んでいけたらと願っています。いつ何時、災害があるかわからない、そういうときに街角レポーターがどんなことができるかタッキーと応援団で協議して

いきたい。

委員長：お互いに無理のない範囲で実現に向けて協議してください。

委員 B：番組の基本はファンやサポーターをどれだけ増やせるかだと思います。街角レポーターにしても単年度で終わらせる気はない。タッキーのファンを目に見える形で増やすことが大切。単なるリスナーではなく、踏み込んだリスナーを獲得する仕組みを作れるんじゃないでしょうか。その一つの形が街角レポーターだと思うので、いい形で番組に反映していきましょう。

委員 D：タッキーはメール会員はやってますか？

事務局：メールマガジンの登録はやってます。

委員 D：私の聞いている民放のラジオで、メール会員になると登録書が貰えて、月に一回会員の中から抽選でプレゼントが貰えたりするんです。そういう形でタッキーでもアプローチを考えてほしい。

委員 B：いろいろな仕掛けや模索をして、リスナーを獲得していきましょう。

委員長：本日はどうもありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 27 年 6 月 22 日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会